

斗進

発行

建交労田川支部

福岡県田川市新町10-60

電話

0947 11 0987

FAX

0947 11 0987



2021年

3月7日

NO. 912

今こそ建交労の

組織拡大計画推進を！

2月17日職場代表者会議で組織拡大について話し合った概要です。
1、いま何故必要か

① 戦争する国か平和を守る国かの闘い

*岸田政権の大軍拡：大増税反対の闘いの現状

*戦争の荒廃の中から立ち上がり「失業と貧乏と戦争に反対」を貫いてきた組合を今こそ大きくすることが大切。

*ウクライナ戦争のような戦争に日本を2度とさせないため平和への取り組みを強める。反戦平和の人々と連帯を強め起ち上げる。

2、くらし・雇用の現状

① 不安定雇用が広がり、賃金は上がらず、経済も成長が止まっている。

② 高齢者は生涯現役などと安上がりの不安定雇用で駆り出されている。

子育て中の一人親世帯（特に女性）は大変。

③ 最期のセフティーネットの生活保護も改悪に次ぐ改悪で、年金者も切り下げが続いている。

④ コロナによる雇用の状況の悪化、円安による物価高騰が生活苦に輪をかけている。

⑤ 生活保護はもとより、劣悪な状況になっている人たちへの公的支援がなされていない。生活困窮者自立支援法などがあるが、民間のボランティアや事業団が頑張っている。が力仕事。

⑥ 社会保障はどんどん切り捨てられている。75歳以上の医療費、保険料、介護保険など。子育て予算も教育費など国は目もくれない。

3、組合の何が大切なのか

① 組合の成り立ち、何をどう闘いつつてきたのか

*戦後の荒廃した中で生き抜くために仕事よこせの闘い。それと憲法9条のもと2度と戦争は起こしてはならないと闘い、憲法25条、憲法27条など基本的人権や仕事の保



石炭記念公園の巻上げ機と香春岳

障の闘いをしてきた。

*国はこうした運動に対して暴徒とした治安対象にしかなかった。官憲も再三動員された。

*地域「仲良し会」などで地域の困っている人々とも団結。現場における暴力支配と闘いながら組織拡大。

*失業者も労働者だ、労働組合の結成、団結権、交渉権など憲法、労働基本権など戦後確立されてきた権利を認めさせ、さらに前進させる闘いをしてきた。

*田川支部でも「失対就労者241人首切り反対の職安闘争」「三省賃金を炭鉱離職者の緊就就労者に適用のPW闘争」などを経て失業者も労働者という確固たるものを闘い取って来たのです。

② さらに地域住民の一番困っていることを真っ先に取り上げ闘う、その闘いの中で自らの要求も実現していく運動スタイル。

*地域住民運動のカナメとして
*筑豊復興闘争

4、それではどのように組織拡大に取り組んでいくか。
(引き続き論議)



経過報告

2/17 職場代表者会議 (赤瀬、内山、増井、立花、椎屋、長野)

2/19 19の日行動 (赤瀬)

2/20 バイオマス発電反対行動 (赤瀬)

2/21 *3・2中央行動署名集約日 (18人分集約)

*赤池公民館ソーシャル現場交渉 (赤瀬、立花)

2/22 福智町へ「2023春闘全国統一要請書」提出 (赤瀬)

地域で働く「仲間のつどい」(川上、赤瀬)

2/28 田川市へ「2023春闘全国統一要請書」提出 (赤瀬)

3/6 バイオマス発電反対行動 (川上)

今後の日程

3/9 (木) 建交労全国統一行動日「政府に求める決議」推進日

3/9 (木) 市ソーシャル懇談 12時30分

3/9 (木) 〓12(日) 組織拡大月間集中行動期間

3/10 (金) 下ソーシャル懇談 13時

3/13 (月) *全国重税反対統一行動 (田川税務署交渉) *九条の会14時

3/19 (日) 19の日行動

3/20 (月) 県本部トラック裁判結審 13時

3/26 (日) 告示〓4/9(日) 投票 (全国統一県議会選挙)

4/6 (木) 〓9(日) 組織拡大月間集中行動期間

4/14 (金) 職場代表者会議 13時30分

4/16 (日) 告示〓4/23(日) 投票 (全国統一市、町村議選)

4/20 (木) 大軍拡・大増税に反対する請願署名「目標達成日(二人5筆目標)

組合員・全員学習会